



ラリー・ウィリアムズのパートナー なりた・ひろゆきと

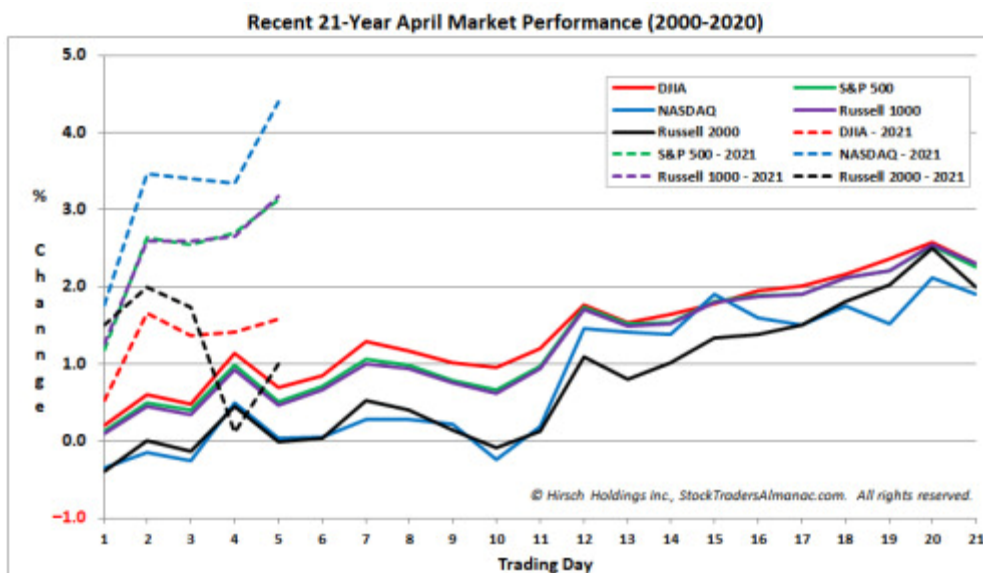
米アノマリーの第一人者、エール・ハーシュのあとを継いだ ジェフリー・A・ハーシュによる  
主要市場を分析した最新相場予測レポート！

▼▼▼ご購入の詳細はこちら▼▼▼

<http://trs.jp/p/5962/2011411200000>

2021年4月9日

**Typical April Trading: Strength from Start to Finish**  
典型的な4月トレード: スタートからフィニッシュまで強い



2000年～2020年4月のパフォーマンス

最近21年間では、4月はダウ、S&P 500、ラッセル 1000のトップランクの月。長期のデータでは、4月はS&P500とナスダックで2位にランクされている。期間中の平均リターンは、ナスダックの+1.91%からダウの+2.30%までの範囲となっている。4月の前半は後半を上回っていたが、1994年以降はそうではない。実際、4月の後半は最近の21年間と同じくらい強くなっている。

4月初旬の取引は通常、最初の4取引日間はプラスで、その後7日目頃に横ばいになっている。その時点で、月の半ばに向かって弱さのほんの少しが出ている。その後、市場は強さを取り戻して月末まで堅調に推移している。指数の中では、ダウは4月、最も強く引け、ナスダックが最も弱く終わっている。今年、ここまで4月のマーケットは平均以上の上昇を上げている。ナスダックは最強で、昨日の引け時点で+4.40%、上昇した。ラッセル 2000は遅れをとっており、+0.99%と控えめの上昇率にとどまっている。